

架空の劇団／渡辺源四郎商店合同公演

震災タクシー

作・演出○くらもちひろゆき○畑澤聖悟○工藤千夏

出演○

男1 (劇作家・くらもちひろゆき) / くらもちひろゆき

男2 (JA職員・佐藤清) / 佐藤清

男3 (営業マン・東海林) / 東海林浩英

男4 (タクシー運転手・加藤) / 加藤隆

女1 (郵便局職員・三上みか) / 三上晴佳

女2 (少女・音喜多幸子) / 音喜多咲子

男5 (車掌、レンタカー屋、タクシー運転手、メロス) / 畑澤聖悟

- 注① 基本的に台詞は標準語で表記され、演技者が日常使用している口語に翻訳されますが、そうとは言い切れない場合もあります。
- 注② ☆もしくは★の台詞および動作は同時に進行します。
- 注③ /の台詞は後に続く台詞か動作に遮られます。

0. 常磐線車中

開演前。

車内の走行音が響いている。舞台上にはくらもち一人座っている。ときおり車内アナウンスが聞こえる。

車内アナウンス 本日はご乗車いただきまことにありがとうございます。この電車は常磐線各駅停車いわき行きです。お客様にお願い申し上げます。携帯電話のご使用は、他のお客様のご迷惑にな

1

2

りますので、電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。次の停車駅は、亘理、亘理です。

しばらくの走行音。客はぼーっとしたり、居眠りしたり、携帯をいじったりしている。

車内アナウンス 本日はご乗車いただきありがとうございます。常磐線各駅停車いわき行きです。お客様にお願い申し上げます。携帯電話は、他のお客様のご迷惑になりますので、電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。次の停車駅は、山下、山下です。

しばらくの走行音。走行音が緩んでくる。

車内アナウンス えー、お急ぎのところまことに申し訳ございません。新地駅手前で火災との情報がありました。安全確認のためしばらく停車させていただきます。

停車。走行音が止み、モーター音が残る。

車内アナウンス 本日はお急ぎの所まことに申し訳ございません。ただいま沿線火災のため、停車中です。詳しい情報が入り次第お知らせいたします。

くらもち、きよろきよろする。携帯を見る。モーター音止まる。遠くに消防車のサイレン。

車内アナウンス えー、お客様にご連絡いたします。この先、新地駅の手前で、野焼きによる枯れ草火災が発生し、現在消防が消火に当たっております。安全の確認が取れ次第発車いたしますので、今しばらくお待ちください。お急ぎの所まことに申し訳ございません。

サイレンの音がやや大きくなってきて、止まる。

間。

車内アナウンス えー、お待たせしております。間もなく発車いたします。速度調整により、遅れを取り戻しながら運行して参ります。本日はお急ぎの所まことに申し訳ございません。次の停車駅は新地です。間もなく発車いたします。

モーター音が再開する。しばらく走行音。
開演。

1. 常磐線停止

車内アナウンス 本日はJR東日本常磐線にご乗車いただきまことにありがとうございます。この電車は各駅停車いわき行きです。現在原ノ町を5分ほど遅れましての発車です。お急ぎの所まことに申し訳ございません。速度調整いたしましたので、定時回復に努めております。終点いわきには、定刻15時59分に到着する予定です。次の停車駅は、磐城太田、磐城／

ガガガガッと激しい音がして、電車止まる。
ギーッとブレーキ音。プシュー。

車内アナウンス 只今、停止信号により緊急停車致しました。このまま、しばらく／(ブチッと切れる、間) えー本日は、お急ぎのところまことに申し訳ございません。ただいま強い地震により停車しております。現在状況確認と情報収集を行っております。そのまましばらくお待ちください。

車掌 (畑澤)、上手から下手にとおり抜けようとする。

くらもち あの、これ、復旧します？
車掌 えーとですね、ちよつと指令ともつながらなくて、携帯でも繋がらないんですが、しばらくお待ちください。

3

くらもち いわきには行けるんでしょうね？
車掌 えーと、いろいろ確認中ですので、しばらくお待ちください。くらもち どうなるかはつきりしてもらわないと困るんですが。
車掌 とにかく、しばらくお待ちください！

車掌、おもむろに帽子をとる。

畑澤 くらもちです…誰がなんと言つてもくらもちです。たった今まで車掌でしたが、くらもちです。…あの日、わたしは、盛岡から仙台まで車に乗り、仙台駅東口に車を置いて、常磐線各駅停車でいわきを目指していました。途中、確か新地駅の手前だったと思うんですけど、沿線で火事があり、15分ほど停車したんですね。ごくごく当たり前の、ありふれた事故です。その時は特に慌てる人もなく、のんびりしたものでした。そのあとの地震は…電車の中だったんで、どのくらいの揺れだったのか実感がなかったです。

畑澤、帽子をかぶって歩き始めようとする。

くらもち あつと、ええと、どんな感じですか？
車掌 今ちよつとまだ状況確認中ですので、ちよつとお待ちくださいね。

くらもち いや、でももう結構待つてるよ。

車掌 申し訳ありません。

くらもち あの、トイレは使えますか？

車掌 ああ、電気止まっちゃったんで、水流れないんですけど。

くらもち おしっこなら大丈夫？

車掌 ええ、まあ、小くらいなら大丈夫です。

くらもち どうなりますかね？

車掌 水流れないだけなんで、あふれるってことはないと思いますけど。

くらもち いやいや、トイレじゃなくて、この状況。

車掌 ああ、復旧の見込みがあるかどうかなんですけど、ちよつと指令とも上手く連絡取れてなくて、ちよつと聞いてみますけど。

4

くらもち 復旧したら、ちゃんと終点まで行きますか？

車掌 いや、ちよつとこんなの初めてなもんで……。

くらもち 何時頃になりますかね？

車掌 まだちよつとわからないんですが、あの、復旧しないようであれば、バス代行つてことになると思います。バスが到着いたしましたら、ここで降りていただいて、そのの田んぼのあぜ道を歩いてバスにお乗りください。

くらもち バス代行はいわきに行くんですか？

くらもち バス代行でどこに行きます？

車掌 いや、恐らく原ノ町に戻ることになると思いますけど……。

くらもち 戻るのかあ。何時頃来ますかね？

車掌 それは……ちよつと……今ちよつと情報収集中ですので……あの、お手持ちの切符は払い戻しあるかも知れませんが、大切にお持ちください。

くらもち あ、はい……。

くらもち、携帯をかける。くらもちは電話の相手と話す。

くらもち もしもし？ あー、つながった、つながった……うん、やつとやつと。そつち、揺れた？……あ、そう……メルは？……そう、良かった……いや、別にメルだけ大事な訳じゃなくて……これから？……あー、悪いね。うん、よろしく。……今原ノ町過ぎたあたりで、常磐線の中。うん、止まった。脱線したかと思つた。でも、そつちは無事なのね？……わかつた、一応、どうなるかわかんないんだけど、俺、このまんまいわき行くから……え？……なに？ なんでもないって何よ？ 気になるじゃない……じゃ、いいけど……うん。そつちも気をつけて……はい、それじゃ……。

くらもち、携帯を切る。車掌、下手から戻ってくる。

車掌 えー皆様にはお急ぎのところ大変ご迷惑をおかけしております。ただいま地震のため停車中ですが、ようやく指令と連絡がつかまりました。復旧の見通しが立たないため、バス代行を要請しました。バスは原ノ町駅に向かいます。

5

車掌、帽子をとる。

畑澤 くらもちです。誰がなんとやおうとくらもちです。バスが到着するまで約1時間。一行は到着したバスに乗り、原ノ町駅へ向かいました。駅では払い戻し窓口が混雑し、途方に暮れた乗客たちが次善の策を求めて右往左往していました。その間に、津波は福島沿岸にも到達し、電車も流されましたが、誰も気づいてはいませんでした。わたしは、いわきで会う予定の相手に、電話をかけ続けましたが、どうやってもつながりませんでした。

畑澤、帽子をかぶって上手に去ろうとする。

2. レンタカー、からの、タクシー

くらもち すいません！ 今借りられる車あります？

畑澤 え？

くらもち ここ、ニッポンレンタカーですよ。

畑澤 え？

くらもち ニッポンレンタカーですよね？

畑澤、マスクをつける。

畑澤 ……トヨタレンタカーです。

くらもち どっちでもいいんですけど、今借りられる車あります？

畑澤 今お出しできるのは1台だけです。この状況ですから、帰ってくる予定の車も帰って来てませんし。

くらもち 仙台に明日乗り捨ててできます？

畑澤 できますよ。

くらもち いくらで？

畑澤 2万9千円ですね。

くらもち 2万9千円かあ……ナビついてます？

6

畑澤 ついてますよ。

くらもち よしっ！えっと、2万9千円……。

くらもち、財布を取り出し、のぞき込む。

くらもち 2万7千円にならない？

畑澤 いやあ、ちよつとそれは……。

くらもち だよねえ……後払いつてできたっけ？

畑澤 それもちよつと……。

くらもち うーん……あ！ カードで支払いますか？

畑澤 カード……カード……？……今停電してるんで、ちよつと。

くらもち だよねえ……あ、ちよつと今、切符、切符払い戻せばいいか……。

畑澤 ああ、払い戻し……。

くらもち ええ、ちよつと、チャレンジしてみます……風邪ですか？

畑澤 ええ、まあ。

くらもち お大事に。

畑澤 どうも。

くらもち んじゃ、またあとで……。

畑澤、去ろうとする。

くらもち あのお、運転手さん？

畑澤 え？

くらもち あ、あれ（指して）払い戻しの列ですか？

畑澤、マスクを外す。

畑澤 ……払い戻しの列だよ。

くらもち あちゃーっ。

畑澤 この駅にあんなに人いるの、見たことないねえ。

くらもち ああ……すいません、あの、これからいっきまでタクシ

ーで行くと、いくらくらいで何時間くらいかかりますかね？

7

畑澤 検討もつかないね。

くらもち あ、運転手さん、いわきまで行ってもらえませんか？

畑澤 いやいや行かない行かない。俺、相馬から来たから、北へ向

かうお客さんだけ。

くらもちああ。

畑澤 あつ、加藤さん、加藤さん？

加藤、登場。

加藤 なに？

畑澤 こちらのお客さん、いわきまで行きたいんだつて。

くらもち はい。

加藤 いわきかあ。

くらもち いくらくらいで何時間くらいかかりますかね？

加藤 この状況だからねえ、普段だったら1時間くらいだけど、2時間か2時間半くらい？

畑澤 そんなもんだらうね。

くらもち ああ。

加藤 小高のあたりは駅前まで水来たつていうし、6号線も津波かぶつて話だからねえ。

くらもち で、いくらくらいで……。

加藤 まあ、2万か、2万2千円くらいだね……。

くらもち 2万か、2万2千円ねえ……わかりました、ちよつと待つて頂けますか？

畑澤 じゃ、ほんとに。あと、よろしくつて感じで。

くらもち すぐ、戻りますから。

畑澤、去る。加藤、椅子を運びタクシーを作り始める。

くらもち すいませーん！今から、5千円払つてもいわきまで行き

たい人いませんか！えーと、ここからタクシーでいわきまで行

くと、この状況ですから、大体2時間から2時間半。料金は2万から2万2千円だそうです。……はい、いわきまでで5千円くらいです。あのー、警戒しないでください。決して怪しい者じゃ

8

ありません。あの、言い訳すればするほど怪しいと思われるかも知れませんが、ホントに怪しくないんです！ えーと、今から5千円払ってもいわきまで行きたい人いませんかー！タクシーでいわきまで行くと、この状況ですから、2時間から2時間半。料金は2万から2万2千円だそうです。

佐藤、客席から手を挙げる。

佐藤 はい、わたし行きます。

くらもち あ、いた。どうぞどうぞ。

佐藤、客席から舞台上がってくる。

くらもち 他に、いわきまで行きたい人、いらつしやいませんか？

東海林、客席から手を挙げる。

東海林 はい！

くらもち いらつしやい！ テレレレッテッテッテーン！他には、いかがですか？五千円でいわきまで行きたい方？いらつしやいませんか？いらつしやいませんか？

東海林、客席から舞台上がってくる。

くらもち はい、後1人！

三上、客席から手を挙げる。

三上 はい！お願いします！

くらもち よつしや！テレレレッテッテッテーン！

三上、客席から舞台上がってくる。音喜多、いつのまにか三上の後ろにいる。

9

くらもち えーつと、ひい、ふう、みい、よー、あれ？ 一人多い。

みんな、数え合う。

東海林 ほんとですね。

くらもち お子さん？

三上 いえいえ、まさか。

音喜多 お願いします！

くらもち お嬢ちゃん何年生？

音喜多 えーと……こ、高校生です！

佐藤 高校生かあ……ホント？

音喜多 一緒に行けるところまで行ければいいんです！

東海林 行けるところまでって、方向違っちゃったらダメでしょ？

音喜多 と、途中で下ろしてもらっても構いません！

くらもち いやいや、そういうわけにはいかないでしょう？どこまで行くの？

音喜多 ……。

くらもち いわきに行くけど……。

音喜多 あたしもそこです。

佐藤 なんか、ホント？

音喜多 はい……。

佐藤 これ中型か？ 中型なら乗れるのか？

加藤 お客さーん、勘弁してくださいよ。運転手いれて5人までです。

佐藤 そうなの？ じゃ、だめだ。中型待ちます？

くらもち いやいや、これ逃したらいつ来るかわかんないし、それに、2万か2万2千円で言ってくれた方だし。

三上 ンじゃ、一番最後だったあたしが……。

くらもち いやいや、女性一人を置いとくわけにはいかないでしょ？

う？

佐藤 それもそうですね。

音喜多 ……。

東海林 女の子は乗せてかないと……。

くらもち ンじゃ、俺、あきらめますか……。

10

三上 ホイミスライム？
佐藤 いや、だから、ドラクエですよ、ドラクエ。
音喜多 ゲーム、ゲーム。
くらもち あの、ちゃんと説明すると、ドラゴンクエストっていうゲームの、レベルアップの音が、テレレツテツテッテーン。
三上 ー、やっぱりなんだかよくわかんないです。
くらもち ドラクエは知ってる？
三上 それは知ってます。
佐藤 やったことは？
三上 ないです。
音喜多 いいよ、やんなくても。
三上 そう？
音喜多 ゲームなんて、他にやることない閑人のやるもんだよ。
佐藤 厳しいなあ。
くらもち みなさん、いわきの方ですか？
三上 あたし、いわきまで帰る途中で……仙台でミスチルのコンサ
ートあったんですよ。
佐藤 ミスチル、いいですね。
三上 いや、別に好きってほどでもないんですけど。
佐藤 ああ。
東海林 牛タン食べました？
三上 ええ、食べました。やっぱり仙台行ったらねえ。
東海林 わたしもね、ちよつと贅沢しようと思うと、どうしても牛
タン食っちゃいますね。
音喜多 牛タン好き。
三上 そう。
音喜多 トロロ嫌い。
三上 そう。
音喜多 トトロ好き。
三上 そう。
佐藤 いいですねえ、わたし、食べたことなくて……。
三上 一回もですか？
佐藤 一回あります、お土産のは……。
くらもち お店では？

13

佐藤 未だに……。
くらもち それは不幸だなあ……。
佐藤 わたしの人生そういうのばかりで……。
音喜多 かわいそう……。
佐藤 目指してるところにたどり着かないんです……今日だって、
いわきに向かって出発した途端にこれですから……。
間。
加藤 あの、普段は6号線行くんですが、途中で津波かぶって通行
止めになってるっていうんで、山の方通りますから。
くらもち あ、はい、それはもう、通れるところを通っていただけ
れば……。
加藤 はい……。
間。
くらもち あ、名乗ってませんでしたね。私、盛岡のくらもちと申
します。
東海林 東海林と申します。名刺を（身動きとりづらい）……。
くらもち ああ、あとでいいですよ。
三上 三上です。あ、名刺とかないんですけど。
佐藤 三上さん。
三上 はい。
佐藤 三上、なにさん？
三上 三上みかです。
佐藤 ああ、どんな字、お書きになるんですか？
三上 ひらがなです。
佐藤 三上みか、いいお名前ですね。あ、申し遅れました。私、佐
藤と申します。佐藤清です。きよしこの夜の清。ま、清らかな男
だと覚えてください。
三上 ……どうも。
くらもち えーつと、お嬢ちゃんは？
音喜多 幸子です。

14

くらもち 幸子ちゃん。

音喜多 はい。あ、音喜多幸子です。

くらもち 音喜多ってどんな字書くの？

音喜多 おんがくを、よろこぶ人が、多いと、幸せな、子ども。

くらもち 珍しいね。

音喜多 八戸にある名前なの。

くらもち 八戸から来たの？

音喜多 ううん。

くらもち どっから来たの？

音喜多 ……。

加藤 あ、ああ……。

と、うめくような声を上げる。全員、のぞき込むように前の方々を向き、同様の声を上げる。

加藤 こりやとんでもないことになっちゃってるな。

東海林 あららららら。

音喜多 わー。

くらもち 1メートルくらいありますね。

加藤 浮き上がっちゃって。

三上 あれは、マンホールが浮き上がっちゃったんですかね？それ

とも回りが沈んじゃったんですかね？

くらもち さあ、それはどっちなんでしょうねえ……。

車は浮き上がったマンホールを大きく迂回して進む。

東海林 しかしすごいな……あの、写真撮ってもいいですかね？

くらもち ああ、いいんじゃないですか。

東海林 滅多にないことだと思っ……。

東海林、バッグからデジタル一眼レフを取り出す。

加藤 止めますか。

東海林 ああ、すみません。

15

16

車、止まる。東海林、何枚か撮る。

くらもち デジイチですか？

東海林 ええ、まあ、デジイチです。

くらもち キヤノンですね。

東海林 ええ、まあ、キヤノンです。

くらもち これ、地割れもすごいですね。

東海林 ちよつと、そこら辺、撮ってきてもいいですかね？

くらもち どうぞどうぞ。

他全員、何となく同意する。

車から降り、あちこちにシャッターを切る東海林。

くらもち やっぱ、写真撮りたいよねえ。写真撮る人は……。

佐藤、時計を見る。

くらもち お急ぎなんですか？

佐藤 ええ、まあ。その、7時に集合なもんで。

加藤 7時ですか？ 普段なら楽勝なんですけどね。

くらもち ま、行けるだけでよしとしないと。

佐藤 ……そうですよねえ。

佐藤、携帯を出して、窓から撮る。東海林、戻ってくる。

東海林 ありがとうございます。とりあえず発車オーライで。

加藤 んじゃ行きますよ。

車、走り出す。

東海林 地割れなんて生まれて初めて見ましたよ。

くらもち 地割れはね、見たことあるんです。すごいのを。岩手宮

城内陸地震の直後に現場に入ったことありましてね。それが、初

めででしたかねえ。

車内の4人、曖昧に返事を返す。くらもち、岩手宮城内陸地震の話語り出す。

音喜多 おじさん、カメラマンですか？

東海林 違うよ。

くらもち ま、カメラマンの方だと、もうちよつと違う格好ですよ。

東海林 ええ、まあ。

くらもち いわきへは、お仕事で？

東海林 ええ。どうしても今晚のうちに着いておきたくて。

くらもち どういった？ いや、差し支えなければ。

東海林 当ててみてください。

佐藤 ああ、そういう風に返せばいいんだ。なるほど。ちよつとメモさせてもらっていいですか？

東海林 いいですよ、別に。

佐藤、携帯にメモる。

三上 堅いお仕事ですよ？

佐藤 えー、なんだろう？ 公務員！

東海林 違います。

くらもち そんなんで、当ててくださいとか言わないでしょ。

佐藤 じゃあ、なんだと思います？

くらもち バーテンダー。

東海林 違います。

くらもち あらあ、いい線行ってると思ったんだけどな。さすらいのバーテンダー。

東海林 ははは。さすらいんですか、バーテンダー。

くらもち さすらい、いいでしょ？さすらいの美容師。さすらいシ

エフ。さすらいドクター。

東海林 ははは、全部違います。

三上 なんだろう？先生かなとか思ったんですけど、公務員じゃな

17

いんですよね？

音喜多 わかった！運び屋だ。

三上 まさかあ。

音喜多 おじさん、ヤクの売人なの。だから、予定どおりにヤクを運びたいと殺されちゃうの。

東海林 違います。

三上 まさかね。

音喜多 じゃ、殺し屋。

佐藤 想像力たくましいね。

音喜多 期限までにその人を殺さないと、今度はおじさんが殺されちゃうの。

くらもち どうやっても殺されちゃうんだ。

音喜多 掟破りは死をもって償うの。

東海林 まあ、たしかに、毎日命すり減らしてる感じはあるなあ。

三上 お住まいは？

東海林 仙台です。

くらもち 仙台かあ、なんでもありだなあ。いよいよもってなんだろ？

東海林 すみません、引っぱっちゃって。あの、予備校に勤めてるんです。

くらもち 先生ですか？

三上 ★ああ。

佐藤 ★なるほど。

東海林 いえ、営業やってましてね。

くらもち 予備校って営業あるんですか？

東海林 あるんですよ、今日もその、明日からいわきでイベントの予定で。

くらもち いやあ、予備校にそういうのあるって知りませんでした。三上 ああ、でも確かに、予備校から学校あての郵便物って結構ありますよ。

佐藤 学校関係のお仕事ですか？

三上 いえ、そういうわけじゃないんですけど……。

くらもち イベントっていうと……。

東海林 まあ、受験相談会とかですね。

18

くらもち 受験相談会……。

東海林 3月ですから、その、受験シーズンですよ。今受験の相談したって、そりやもう願書も出しちやってるでしょうから、そういう、なんていうか前向きなあれじゃなくて……。

くらもち なんかも奥歯に物が挟まったような言い方ですね。

東海林 奥歯の物を取っ払って言うと、まあ、つまり、ぶっちゃけ大学落ちたら来てくださいよってことなんですけど。

佐藤 うわあ、ぶっちゃけるとなんだかスゴいイベントだなあ。

東海林 結構あちこちでやってるんですよ。この時期の営業大事なんですけど、こんなことになっちゃったらなあ……。原町とか相馬とかちよつとそれどころじゃないですよねえ？

くらもち まあ、そうかも知れないですね。

東海林 やっぱ、明日は無理かなあ。

くらもち 難しいんじゃないですか？

東海林 やっぱ難しいですよ。いやね、何人入れられるかなんて確認できませんからね、相談会に何人呼んだかが査定の規準になるんですよ。なんか、リストラやるらしくて。

くらもち 大変ですね。

東海林 くらもちさん、どちらにお住まいですか？

くらもち 盛岡です。

東海林 ああ、盛岡でも結構やってますよ。今度遊びに来てくださいよ。(名刺を渡す)

くらもち いやいや、中年男が予備校の相談会に遊びに行ったところ……。

東海林 お子さんとかね、これからのこともあるし……。

くらもち いやあ、ウチまだ小学生なんです。

東海林 あつという間ですよ。

くらもち おおっ、営業だ。

東海林 (佐藤に名刺を出して) 佐藤さんもよろしくお願いします。

佐藤 いや、その、僕、独身なもので。

東海林 生涯独身のおつもりですか？

佐藤 いやあ、決してそういうつもりでは。

東海林 じゃあ、よろしくお願いします。

佐藤、受け取る。

東海林 三上さんも。

三上 どうも。でも、私がこれから結婚して、子供産んで、その子が予備校に行くよりは、幸子ちゃんの方が早いかと思えますけど。東海林 それはそれとして、じゃあ、幸子ちゃんも困ったらいつても。

東海林、三上と音喜多に名刺を渡す。

音喜多 その節はよろしくお願いします。

佐藤 わかった！ 三上さん、郵便関係ですね！

三上 ずっと考えてたんですか？

佐藤 当り？ 当たりました？

三上 正解です。

佐藤 よっしゃあ！

くらもち さすらいの郵便局員。

佐藤 あの、さらにもう一つ、あの、三上さん、もしかして同じ車両に乗ってました？ あの、しまむらの前のところの……。

三上 ああ、そうですそうです。

佐藤 やっぱ。偶然ですねえ。運命ですかね？

くらもち そりや、あそこにいた人はみんな、同じ電車でしょう。

佐藤 バス代行がいわきに行ってくれりやよかったのにねえ。

くらもち 戻されましたからね、原ノ町に。俺に原ノ町に戻ってどうしろって言うのよ。

加藤 いわきまでは70キロ以上ありますからねえ。

くらもち そりやまあ、いわきに行くよりちよつと戻れば原ノ町だからなあ。

佐藤 いわきへは……。

くらもち ああ、ちよつと人と会う約束がありましたね。いわきにホテル取ってるんで。

東海林 盛岡に戻ろうとは思わなかったんですか？

くらもち いやあ、だって、そんな、ねえ、大丈夫でしょ、きつと……。

三上 普通はウチに帰りますよね？こんなことになっちゃったんだから。

くらもち いやいや、普通は行くでしょ。約束してるんだから。そんな、こんなことになっちゃってるのは、思ってたかったですよ。

佐藤 女性ですよ？ その方。

くらもち ええ。

佐藤 もしかして、色っぽい話とか？

くらもち いやいや。

佐藤 そうかなあ？

くらもち ないですってば。ないんです。

佐藤 むきになって否定するところが怪しいよね。

三上 ええ、まあ。

音喜多 女の影。

くらもち ちよつとそういうアレじゃないんですから……。

佐藤 でもこの状況じゃ、帰る方向に行くのが普通ですよ？

くらもち 何もないければ行くのが当たり前なんですから、当たり前前のことは当たり前やらなきゃ……。

佐藤 普通はそうですけど、ねえ？

東海林 私もそう思います。

佐藤 ですよ。

4. 障害

加藤 ああ、こりや、どうかな？

車が止まる。

東海林 橋、浮き上がってますね。

くらもち 橋も浮き上がってるんですか……。

東海林 越えられっかな？

加藤 表に出る。乗客たちも外に出てみる。

21

22

佐藤 斜めに行けば何とかかなりそうですかね？

くらもち 反対側、対岸の段差は大丈夫ですかね？

加藤 ちよつと、見てきますか。

東海林 んじゃちよつと、行ってみましょう。

くらもち はい……。

音喜多 私も行く。

取り残される三上と佐藤。

三上 ……ああ、軽自動車、あんなところまで流されて来てる。

佐藤 え？ どこ？ どこですか？

三上 あそこ、あっち、上流のほうです。

佐藤 あ……ああ、ホントだ……。

三上、携帯を取り出してメールをチェックする。佐藤も電話をかける。つながらない。

佐藤 つながんないなあ。三上さん、メールとか、来てます？

三上 届いてないみたい。

佐藤 恋人ですか？

三上 いえ、両親とまだ連絡とれてなくて。

佐藤 ああ、ご心配ですね。

三上 ええ、兄も姉も家を出てしまつて、普段は私が面倒みてるんですよ。まあ、面倒みてるっていうか、向こうは、私の面倒みてるつもりなんですよ。

佐藤 ああ……揺れてますね。

三上 ほんとに？

佐藤 大丈夫、僕がついてますから。

三上 揺れてます？なんか、ずっと車乗ってたから、よくわかんないです。

佐藤 やっぱり余震ですかね。まあ、あれだけのものですからね。

そりや余震もありますよね。

三上 まだ揺れてます？

佐藤 いや、収まったと思いますよ。
三上 ああ、あれ？ なんか揺れてる気がする。
佐藤 大丈夫ですか？
三上 ええ。

三上、電話をかけてみる。通じない。

佐藤 いま、どの辺かわかります？

三上 まあ、あたしも良くわかんないですけど、浪江あたりじゃないですか。

佐藤 ああ………あの………20歳くらいの年の差って、女の人はどうなんですかね？

三上 え？ いやあ、人それぞれじゃないですかねえ。
佐藤 やっぱどうしようかなって思っちゃいますよね？

三上 相手次第じゃないですか？

佐藤 あと、兼業農家でも、やっぱり農家は農家ですかね？
三上 え？ いやいや、でも最近は農家も昔ほどじゃないんじゃないですか？

佐藤 まあ、そういう心配は、無いです。だって、土地は手放さなければありますから。ねえ、土地って大事ですよ。地面があれば、何か作れますから。機械で大きな借金でもしない限り、大丈夫だし、それに……JA勤めてますから。

三上 農家も悪くないんじゃないですか。

佐藤 そうですか！ そうですよ！ 悪くないですよ！

三上 あ、あと、えーと……。

佐藤 いやあ、ウチ、高倉で米作ってるんですが、JAにも勤めます。あ、さっき言いましたね。いやあ、こういう出会いもあるんですね。

三上 はあ……。

みな、戻ってくる。くらもち、携帯をかけ始める。

三上 どうですか？

加藤 まあなんとか、斜めに入れば大丈夫そうです。

東海林 ここ迂回してたらまた遠回りですもんね。
加藤 うん、まあ……。

一同、車に乗り込む。

佐藤 いやよかったですねえ！

三上 運がいいですね、あたしたち！
音喜多 ツイてるツイてる！

東海林 くらもちさん？
くらもち (携帯つながらないのをあきらめて) あ、はい。

くらもちも車に乗り込む。

加藤 んじゃ、行きますけど、ちよつとガクンとしますよ。気をつけてくださいね。

ガクンとみんな傾く。

三上 盛岡もつながらないですか？ ご心配ですね。

くらもち いや、家の方は大丈夫だって、さつき。
三上 あら。

音喜多 いわきの女。
くらもち あのねえ、

佐藤 つながらないと心配ですよ？ その方も心配してますよ、さつき。

くらもち ったく、そんなんじゃないんですよ。仕事の打ち合わせですから。

音喜多 「仕事の打ち合わせですから。」
くらもち ころっ。あの、運転手さんは、さつきどうだったんですか？

加藤 ええ？

くらもち 地震の時です。

加藤 ああ……。

くらもち ぼくらはみんな電車の中でしたけど。

加藤 ああ、客待ちしててね、んで、立ち話してたのよ。そしたら、なんか、めまいかなあって思ったらガガガッてきて……あとはもうしやがんで、どうしようもないもんね。

くらもち めまいね……。

東海林 ……渋滞、ですわね……。

くらもち 塀が、崩れちゃってますよ……大谷石だ。

三上 ★あの家、道路まではみ出しちゃってる。

くらもち ★普通、こんなところで渋滞しないですよ？

加藤 こんな山の方、普段は通らないからねえ。みんなこつちまわ

って来ちゃってるんだねえ。

佐藤 これ、この先、通れるんですかねえ……。

加藤 どうなんでしょうねえ。

東海林 ……こりゃあしばらくはこの話題で持ちきりだな……。

くらもち 一生語り継ぎますね。

古代ギリシャ風の衣装を着たメロスが走り出てくる。舞台中央に至るとその場走り。タクシーの面々はストップモーション。くらもちだけは、メロスが気になり、立ち上がってメロスの一挙一動を注視する。

メロス メロス、激怒しました。

メロス、走っている。くらもち、真似をする。

メロス メロス、政治がわかりません。メロス、村の牧人です。笛を吹き、羊と遊んで暮して来ました。三日前の未明、メロス、村を出発し、野を越え山越え、十里はなれたシラクスの市にや

って来ました。人通りのない街で、一人の老人に出会いました。

と、メロス、舞台を一周する。くらもち、見ている。

メロス 「王様は、人を殺します。」「なぜ殺すのだ。」「悪心を抱いている、というのですが、誰もそんな、悪心を持つては居りませぬ。」「たくさんの人を殺したのか。」「はい、はじめは王様

25

の妹婿さまを。それから、御自身のお世嗣（よつぎ）を。それから、妹さまを。それから、妹さまの御子さまを。それから、皇后さまを。それから、賢臣のアレキス様を。」

と、メロス、舞台を一周する。くらもち、真似をする。

メロス 「呆れた王だ。生かして置けぬ。」メロス、単純です。買物物を背負ったままのそのそ王城に入って行きました。たちまちメロス、捕まりました。メロス、懐に短剣入れてました。死刑！

と、メロス、捕縛される。くらもち、考え込む。

メロス 「王様をお願いします。処刑までに三日間の猶予を与えて下さい。たった一人の妹に、亭主を持たせてやりたいのです。三日のうちに私は村で結婚式を挙げさせ、必ず、ここへ帰って来ます。」「ばかな。逃がした小鳥が帰って来るといえるのか。」「この市にセリヌンティウスという石工がいます。私の無二の友人だ。あれを、人質としてここに置いて行こう。私が逃げてしまつて、三日目の日暮まで、ここに帰って来なかつたら、あの友人を絞め殺して下さい。」「よし、わかった。三日目の日暮れ、三日目の日暮れまでだぞ」

と、メロス、舞台を一周する。

メロス セリヌンティウス、王城に召されました。縄打たれました。メロス、すぐに出発しました。初夏、満天の星でした。

くらもち、タクシーに戻っている。加藤、窓を開け、メロスに話しかける。くらもち以外には、メロスは普通の対向車の運転手に見えている。

加藤 この先、通れるの？

メロス まあ、通れるよ。

26

加藤 6号線は？

メロス ダメダメ、途中通れるところもあるけど、津波かぶってるところもあるし、陥没もしてるって。

加藤 やっぱり、山麓線かい？

メロス 俺も途中から山麓線。

加藤 大野の方はどうなってるか分かる？

メロス メロス、わからない。

加藤 いや、街中抜けられるところあるかと思って。

メロス 津波は来てなかったみたいだけど。駅あたりには。

加藤 あ、そう、いやどうもありがとう。

メロス どうも。

メロス、走り去る。

加藤 まあ一応何とかいけるみたいだけど、この渋滞じゃねえ、途中から6号線いけるかと思っただけど、はつきりしないねえ、津波

かぶったり陥没してたりみたいだから……。

佐藤 (ひそひそ) もう、いっちゃいますよね、2万2千円とか。

くらもち うん……。

佐藤 いわき着いても停電だと、ATMも止まってますよね……。

くらもち どうだろう？

佐藤 だいたい、本当にたどり着くんではないか？わたしはきょう

は絶対いわきに行かなきゃならないんです。

東海林 佐藤さんはいわきで何があるんですか？

佐藤 実は……合コンがありました……。

三上 ★合コン？

東海林 ★合コン！

くらもち 合コンって、あの合コン？

佐藤 はい、お恥ずかしい話なんです。

東海林 いや、それは、ちよつと、無理なんじゃないですか？

佐藤 そうですか？

くらもち いや、無理でしょう。ねえ。

三上 そりゃ、ねえ。

佐藤 いやあ、連絡も取れなくなっちゃって、でも、やっぱり約束

27

は約束ですから、もしダメでも行かなくちゃって……。

三上 そんなにまで……。

佐藤 はい……。

音喜多 バカだ。

くらもち いや、でもまあ、わかりますよ。いわきは大丈夫かも知

れませんしね。

佐藤 そうですよ！

間。

佐藤 やっぱなにがあってもそこに行くっていうね……。

音喜多 合コンでそれはないでしょうよ。

東海林 幸子ちゃん、キツイね。

音喜多 だって、ねえ。

三上 いやあ……。

くらもち 相手は、どんなアレなんですか？

佐藤 いやまあ、30代から上限定みたい……。

くらもち それは、なんというか、現実的ですね。

佐藤 そうなんですよね。わたしもまあ、そう浮かれてられる年齢

でもない……。

音喜多 浮かれてないんだ。

くらもち そういうアレだと、もしかしてって事もありますからね。

佐藤 そうですよ！

くらもち いやいや、あんまり無責任なことも言えませんが。

佐藤 くらもちさんだって、その人に、とにかく会いに行く訳です

よね？

くらもち ええ？

音喜多 あとでモメるよ。

くらもち ええっ！

音喜多 「私とその人とどっちが大事なの？」女はね、必ず言うの。

佐藤 どういう小学生よ。

三上 でも、奥さんとか、どう思うんですかね？

くらもち え？ いや、だって、とりあえずいわき行くからって伝

28

三上 いやいや、この非常時に、家族からどんどん離れていく訳ですよね？

くらもち まあ、そうですね……。

三上 奥さんにも、仕事の打ち合わせ、とかっておっつしやってるんですか？

くらもち はい。

三上 失礼ですけど、お仕事って？

くらもち あの、劇作家なんです。お芝居書いてて。

佐藤 すごいですね。

くらもち いやあ。

佐藤 今度、観に行きますよ。いつですか？

くらもち いやあ、十二月くらいですかね？ 太宰治の「走れメロス」って知ってます？ あれを現代風にアレしてアレするんです

けど。その公演の打ち合わせで／＼

三上 なんていうか、自衛隊とか、警察みたいな、そういう世の中の役にたつお仕事じゃない訳ですよね？ 任務みたいな。

くらもち はい。

三上 のちのち禍根を残しますね、これは。

音喜多 禍根、離婚、禍根、離婚！

くらもち いや、だから、別にそういう話じゃないんですよ。

加藤 あの、ちよつとこれ、進まないみたいだから、迂回してもいいですかね？

くらもち いいんじゃないですか。

佐藤 (ひそひそ) 2時間か2時間半とか言っていましたけど、とんでもないですね。

くらもち うん……まあ、しょうがないよねえ。

車、Uターンする。

くらもち いやあ、レンタカー借りなくて正解だった。これじゃ土地勘ないと絶対わかんないもんね。いくらナビあっても。

三上 常磐線はいつ復旧するかわかりませんしね。

加藤 まあしばらくは無理でしょう。小高の方は駅前まで水来たつて言うから。

29

佐藤 駅前まで？ 津波ですか？ ええーっ！ 駅前まで？

加藤 うん、そうみたい……。

くらもち ……ほんと助かります。

加藤 ……あの、最初に2万か2万2千円で言っていましたんで、メーター、そこで止めときますから。

乗客たち、顔を見合わせる。

くらもち ありがとうございます。

東海林 いいんですか？

加藤 会社には内緒にしといてくださいね。

くらもち 大丈夫です。

三上 ありがとうございます。

佐藤 ありがとうございます。

加藤 でもまあ、まだ原ノ町あたりは良かったんですよ。なんだか北の方、新地とか坂元とか駅流されたって言っていましたから、さつき、ラジオで。

全員ため息のように「ええーっ」

くらもち ……通り過ぎてきたところだし。

東海林 1本遅かったらどうなってるかわかりませんでしたね。

くらもち いやあ、案外間一髪だったのかも知れないですね。

東海林 そう考えれば運がいい。

音喜多、三上に耳打ちする。

三上 あのお。すいません！トイレ！幸子ちゃん、トイレに行きた

いそうです！

くらもち 我慢してたの？

音喜多 うん。

三上 運転手さん、トイレお願いします！ 緊急事態です！

加藤 え？ ああ、はい、ええ？

三上 すみません可能であれば、ちゃんとしたトイレがありそうな

30

ところで、どうしても間に合わなそうであれば、ちよつと隠れられそうなところで……。

加藤 どのくらい大丈夫ですか？

三上 とりあえずあと5分我慢！

音喜多 うん。

加藤 ★トイレって……コンビニは閉まってるどころ多いだろうし、トイレねえ……大野の街の中行けば、まあ、どっかなんかあるでしょう……。

三上 ★我慢できる？

音喜多 まだ、大丈夫。

加藤 いざとなったらあれですよ、そこら辺ですよ。

音喜多 うん。

東海林 俺たちはまあどこでもいいんだけどねえ……。

佐藤 あんまり遠回りはいしないでくださいね。間に合わなくなっちゃいますから。

三上 佐藤さん、そんなこと言わないでくださいよ。幸子ちゃん、かわいそうじゃないですか。

佐藤 すみません……。

東海林 まだあきらめてないの？

佐藤 はい。最善の努力を……。

三上 何もこの非常事態に最善の努力なんて……。

佐藤 いやいや、非常事態だからこそ最善の努力なんです。

東海林 佐藤さん、二兎を追う者は一兎も得ず、ですよ。

佐藤 私は、二兎でも三兎でも追いますよ。これまで、わたしはい

つも、その、最善の努力をする手前で、あきらめちゃってたんで

すね。でも、今回このような事態にはなっちゃったけれども、い

や、このような事態だからこそ、頑張ってみるべきなんじゃない

かと思っただけですよ！

東海林 そういった努力は違う方向に向けた方がいいんじゃないかなあ。

加藤 あの、ガソリンスタンド閉まってるけど、ありますね。もしかして、トイレだけでも開いてれば……。

音喜多 お願います！

加藤 んじゃとりあえず寄ってみるだけ寄ってみますね……。

31

タクシーを停める。加藤を残し、全員降りる。

くらもち 外には……ないかな？

佐藤 こっちはないね。

東海林 あった！でも、中だ！閉まってる。

音喜多 ええーっ、

三上 ええーっ。

加藤 あの、もうちよつと行けばなんかありますから。

全員、車に乗り込む。

三上 ★大丈夫？

音喜多 あのお、後ろに座ってください。私、一人で座った方が……いいかも。

三上 じゃ、がんばって。

東海林 ★なんかって何があるんですか？

加藤 このあたりは何とかセンターとか何とかセンターとか何とかセンターとか結構あるんですよ。その、公共施設みたいなのが、いっぱい。

東海林 ああ……。

くらもち んじゃまず、行きましょう。

後ろに4人並ぶ。

加藤 まだ大丈夫ですよ？

音喜多 うん。

加藤 あちやー、通行止め。警察だよ……。

三上 隠れて！

くらもち いや、隠れるのは三上さん。

三上 あ、はい……。

三上、何となく隠れる。

32

畑澤 すいません、ここから先通行止めです。ここ右折して迂回するか、戻って手前を右折するか、いずれ右折で、山の方にお願います。

畑澤、車をのぞき込む。

畑澤 あれえ？ 一人多くないですか？

佐藤 この非常時に何言ってるんだ！ そんなこと言ってる場合じゃないだろ！

佐藤、激昂する。びっくりするみんな。

畑澤 ああ、いや、はい。

佐藤 状況を考えてみたまえ！ みんな必死で何とかしようとしてるんじゃないか！

畑澤 ああ、はい、いや、でも、危険が……。

佐藤 ここに誰かを一人置き去りにする方がよほど危険じゃないか！ それとも警察は責任を持って送り届けてくれるのか？

畑澤 ああ、いや、あ、そうですね……あの、お気をつけて……。

三上、起き上がる。畑澤、去る。

加藤 余計な時間取っちゃいましたけど、まだ大丈夫？

音喜多 はい……。

加藤 こっちの方になんかあったかなあ……。

くらもち しかし佐藤さん、すごい気合いでしたね。

三上 あたしも、びっくりしちゃいました。

佐藤 いやあ……。

加藤 あれ？ あそこは、なんかだな……。

くらもち ああ、なんかですね。

東海林 ああ、そうですね、なんかですね。

佐藤 なんかないかな。

三上 あとちよつと我慢してね。

音喜多 はい……でも、そのなんかが、何でも無かったらさすが

33

にヤバイかも知れません。
佐藤 そこで油断しちゃダメだ！ あそこがゴールじゃない！ 無事に終わったならそれがゴールなんだ！

音喜多 はい！

東海林 ちよつと、調子にのってんなあ。

加藤 よし来た、何とかセンター的のところですね……。

三上 開いてるかしら？

東海林 あ、トイレのマークある。

くらもち 暗いなあ。

加藤 はい、お待たせしました。

加藤以外、飛び降りるように車から降りる。

東海林 そっち！ そっちだから！

上手を指さす東海林。

音喜多 ありがとうございます！

佐藤 まだだ！ まだ安心しちゃいけない！ 三上さん、ついてってあげなさい。

三上 あ、はい。

音喜多、上手に去る。それぞれため息をつく。

くらもち 何とか間に合ったかな……。

佐藤 ……ちよつと、一息入れますか……。

くらもち そうですよ、今さら急いだってしょうがない。

東海林 ……しかし、冷えますね……。

くらもち 俺も、トイレ行つところかな。

加藤 んじゃわたしも……。

東海林 それじゃあついでに……。

ぞろぞろと上手に去って行くみんな。

34

佐藤 ええつ、だったらわたしも……。

残される佐藤。深呼吸をして、後を追う。
誰もいなくなる。

間。

音喜多、「きらきら星」を歌いながら戻ってくる。誰も乗っていないタクシーを見つめ歌い続けるが、見えないはずの原子力発電所に気づき、歌をやめる。原発の方向をじつと見つめる。くらもち、登場。

くらもち 幸子ちゃん、間に合った？

音喜多 ……。

くらもち 幸子ちゃん。

音喜多、くらもちに原発を指し示す。

くらもち なに？

くらもち、音喜多の近くまで来る。

音喜多 ……。

くらもち なに見てるの？

音喜多、答えずにじつと原発のあるあたりを見つめている、くらもちも目をこらす、くらもちには何も見えない。

くらもち ほんとはどこまで行きたいの？

音喜多 ……。

くらもち どこに行くつもりだったの？

音喜多 ……お父さんのとこ。

くらもち お父さん、どこにいるの？

音喜多 ……わかんない。

くらもち お母さんは？

音喜多 ずっと前に死んじゃった。

35

くらもち そつか。

音喜多 ……。

くらもち おうちに帰らなきゃ。

音喜多 ……。

くらもち 帰りなさい。

音喜多 それは無理というものでしょう。

くらもち どうして？

音喜多 だって、もうないんだもん。

くらもち ない？

音喜多、くらもちを見る。

音喜多 ないじゃん、今まで住んでたとこなんて、もう。

くらもち ……。

音喜多 今までの場所は、もう今までの場所じゃないんだよ。

くらもち ……。

音喜多、また原発のある方角をじつと見つめる。

くらもち じゃ、どうするの？

音喜多 ……行かなきゃ。

くらもち どこへ？

音喜多 お父さんのとこ。

くらもち だって、お父さん、どこにいるの？

音喜多 ……行かなきゃ。

男たちの声。

東海林 携帯で照らしながらってのもなかなか無い経験ですね。

佐藤 写メ撮っちゃおうかと思っただけどあんまり間抜けなんでやめました。

東海林 水もなんだかんだとちよびつとは出ましたからね。

話しながら、東海林、佐藤が帰ってくる。

36

佐藤、先に戻った音喜多、三上を見つけて。

佐藤 ★間に合った？

音喜多 間一髪セーフでした。

佐藤 おめでとう！

音喜多 ありがとう！

佐藤 お礼なら加藤さんに言って。

音喜多 あ、はい。

東海林 加藤さん、遅いですね。

佐藤 ですよ。

くらもち ……あと、どのくらいですか？ いわきまで。

東海林 ああ、あと半分くらいじゃないですか？

佐藤 半分行きましましたかね？

東海林 ああ、まだ半分来てないか……。

加藤、戻ってくる。

加藤 やっぱりみなさん若いですね。

東海林、佐藤、くらもち 若くないですよ。

加藤 いやあ、あたしに比べれば、もう勢いも何もかも……お嬢

ちゃん、真つ暗で、恐くなかった？

音喜多 わりと暗闇大丈夫なんで。

加藤 ★えらいねえ……。

東海林 ★せっかくだから、記念写真でも撮っていきましよう。

東海林、撮影のセッティングを始める。

くらもち そうですね、それ良いですね。

佐藤 三上さんが戻って来ないと。

くらもち ★もう、戻ってくるでしょ。

東海林 ★ちよつと軽く並んでみてもらえますか？

加藤 私、撮りましようか？

東海林 ★セルフタイマーですから。

くらもち ★加藤さんも入りましよう、こういうことなんてまずないんだから、一生にもう二度と無いんだから……。

37

加藤 あつても困りますけどね……。

三上、戻ってくる。

佐藤 三上さん、三上さん。

三上 お待たせしました。なにやってんですか？

佐藤 集合写真集合写真。

三上 あ、はい。

東海林 三上さん真ん中に、女子二人で並んで、それをおやじが

囲むと。

三上 はい……。

東海林 わたし、そこに入りますんで……いいですか？ んじゃ撮

りますよ……。

パシヤツとストロボ。

三上 びっくりしたあ……。

東海林 間違っちゃった。えーと、改めて参ります。

東海林、タイマーをセットしてシャッターを切る。素早く走り込んで端っこに納まる。すると、地鳴りと共に揺れが来る。

くらもち ★ああ、また来たまた来た……。

佐藤 ★ゆれてる？ ゆれてます？ ゆれてますよね？

三上 ★大丈夫ですかね？

東海林 ★ちよつと待ったあー！

東海林、慌ててカメラに戻ると、ストロボが光る。

東海林 ああ、また撮れちゃった。まあいいや、今度こそ行きま

すよ。

佐藤 まだちよつと揺れてる。

くらもち うん、まだまだ。

加藤 今回の余震も長いですよ。

38

三上 ホントに……。

次第に揺れが収まってくる。

東海林 さて、気を取り直して、撮りますよ。はい並んで……撮りまーす。

走り込んで並ぶ東海林。

東海林 今度は揺れないでよー。

くらもち 大丈夫大丈夫。

東海林 笑ってー。

ストロボが光り、写真を撮る。

東海林 さて、上手く撮れてるといいんですけど……。

三上 あたし目えつぶったかも。

東海林 ストロボ見えた？

三上 ええ、まあ……。

東海林 なら大丈夫。

東海林、タイマーをセットしてシャッターを切る。素早く走り込んで端っこに納まる。少しして、パシヤリ。

東海林、カメラを取り上げ、再生する。くらもち以外、回りに集まってきて、覗き込む。

三上 やだあ、あたしやっぱ目が半開き。

佐藤 大丈夫、大丈夫。

三上 大丈夫じゃないですよ。

佐藤 ちゃんと、キレイに撮れてますよ。

くらもち、バックにした暗闇（客席側）を眺めている。

くらもち あっちの方が、海ですかね……。
佐藤 結構高台だな……。

39

40

くらもち あっちの方が、なんだか薄ぼんやり明るいような気がしますけど……。

加藤 暗いですけどね……。

くらもち でも、なんか、真っ暗なんだけど、真っ暗な中にも暗いとこると明るいところとあるような……。

東海林 そう言われてみるとそんなような気もしますけど……。

くらもち あれはなんですか？

加藤 ああ、あれね……。あれは……フクイチかな……。

佐藤 ああ、そうかそうか……。

東海林 そうだね、フクイチだね。

くらもち フクイチって言う……。

加藤 福島第一原子力発電所ね……。

くらもち へえ……。

メロス、目をこすりながら登場。

メロス メロス、寝過ぎました。妹の結婚式の翌朝です。日暮れまでに間に合わなければなりません。メロス、ぶるんと両腕を大きく振って、矢の如く走り出しました。

メロス、舞台をぐるぐる回る。

加藤 大野駅目指してたからね。いつの間にか近くまで来てたね。

くらもち フクイチっていうんですね。

加藤 そう、フクイチ、フクニ。フクイチに6基、フクニに4基、

合わせて10基の原発が福島にはあるのね。

くらもち 詳しいですね。

加藤 常識常識、福島人の常識。ねえ。

佐藤 ええ。

くらもち ああ、なるほど。

メロス、舞台を回り終わる。

メロス 私は、今宵、殺される。殺される為に走るのだ。身代り

の友を救う為に走るのだ。王の奸佞邪智を打ち破る為に走るのだ。若い時から名誉を守れ。さらば、ふるさと。

メロス、舞台をぐるぐる回る。

くらもち しかし、大丈夫なんですかね、

佐藤 なにがですか？

くらもち この地震で、フクイチ。

佐藤 え、だって、世界に誇る安全基準なんですよ？ね？

加藤 そう。あんまり素晴らしいんで、ヨーロッパから視察に来

たらしいですよ。建設中。

くらもち でも、津波も来たでしょう。

メロス、はたと止まる。

メロス メロス、はたと、とまりました。見よ、前方の川を。きのうの豪雨で山の水源地は氾濫し、どうどうと響きをあげる激流が、木葉微塵に橋桁を跳ね飛ばしていました。「ああ、神々も照覧あれ！濁流にも負けぬ愛と誠の偉大な力をいまこそ發揮して見せる！」どりやあああああああッ！

メロス、ざんぶと流れに飛び込み、泳ぐ。

東海林 すごい堤防があるんですよ、たしか。

加藤 こんな長くて高い堤防は空前絶後で、世界中どこ探しても

ない、とか言っていましたよ。建設中。

くらもち へえ。

加藤 だいたい、事故起きてたら、もう、私たちみんな死んでる

でしょ。

くらもち ま、そりやそうですよね。

5人はタクシーに乗る。メロス、川を泳ぎ切る。

メロス メロス、見事、渡り切った時、目の前に一隊の山賊が躍

41

り出ました。「持ちもの全部置いて行け」「私には命の他には何も無い。そのたった一つの命もこれから王にくれてやるのだ」「その、命が欲しいのだ」「さては王の命令で、ここで私を待ち伏せしていたのだな」どりやあああああああッ！

メロス、山賊と戦う。

タクシーはいわきに近づいていく。

三上 眠くない？

音喜多 全然。

三上 私も。

くらもち たしかに眠く、なりませんね……。

佐藤 これだけ暗くて車に乗ってたら、眠くなってもおかしく

くないんですけどね。

東海林 ……あとのくらいですか？

加藤 ああ、まあ30分くらいかな。さすがに4時間も乗ってる

と、不安になってきますよね、本当に着くのかってね。でも、

大丈夫、着実にいわきに近づいてますから。

メロス、山賊に勝つが、へろへろである。

メロス やんぬる哉。

メロス、どう、と、倒れる。

タクシーはいわきに近づいていく。

くらもち あー、街の明かりが、ありますね……。

加藤 ああ、いわきは停電してないんですね。

三上 ホントだ。電気ついてる。

佐藤 そうですねえ。

くらもち 明かりがついてるっていうことは、案外大丈夫なん

ですかね。

三上 だといんですけど……。

東海林 こればっかりは行ってみないとわからないですね。

42

メロス、ふらふらと立ち上がる。

メロス 私は信頼に報いなければならぬ。私を、待っている人がある。私の命などは問題ではない。私は信頼に報いなければならぬ。いまはただその一事だ。走れ！メロス！

と、メロス、スローモーションで走り去る。くらもちだけが、走り去るメロスをじっと見ている。

6. いわきに到着

タクシーはいわきに到着する。

加藤 はいお疲れ様でした。

くらもち いや着きましたね、いわきに。

三上 途中から、たどり着かないんじゃないかとひやひやしてました。

東海林 いやあ、最初は、相乗りして助かったと思っただけで、途中からほんとにこれで良かったのかって不安になりましたからね。

くらもち だんだん無口になってきましたもんね。みんな。

東海林 でも、ほんとに良いんですか？2万2千円で。

加藤 はい、でも、会社には言わないでくださいよ。

東海林 それは大丈夫ですけど、すみません。

くらもち えーつとね、幸子ちゃんはいいいから、一人5千円で。

音喜多 どうも。

音喜多、車から先におりる。

東海林 いやいや、2万2千円だから、一人5千5百円でしょ？
くらもち いやいやいいですよ。

三上 いやいや、ちゃんと割りましょう。

43

東海林 はい、ちようど出そうです。
くらもち そうですか？すいません、こちらからお誘いしたのに。
東海林 いやいやこちらこそ助かりました。
佐藤 やっぱ美しいですね。信頼って。

四人、ごそごと財布を取り出し、お金を出す。くらもちが集める。

くらもち はい、じゃあ、ちようど2万2千円で。

加藤 はい、ありがとうございます。

くらもち、支払う。全員、車から降りてそれぞれ伸びをする。

くらもち 四時間半かかりましたね、結局。ありがとうございます。
加藤 仕事ですから。

三上 これからまた、四時間半かけて帰るんですよね？原ノ町まで。

加藤 仕事ですから。

東海林 大変だなあ。

加藤 仕事ですから。

くらもち ……ガソリンって言うか、ガス、間に合うんですか？

加藤 間に合いますよ。まだ半分以上ありますから。

佐藤 ……あの、気をつけて。

加藤 はい……。

タクシー、走り去る。

くらもち それじゃあ、みなさん、どうしますか？

東海林 僕はホテル取ってますから。歩いてすぐそこなんで。

くらもち そうですか。

東海林 明日の受験相談会、どうなるかわカンナイですけどね。

くらもち こればかりはなんともしね、

東海林 じゃ、皆さん、お気を付けて。

44

一同 お気を付けて。

東海林、去る。

くらもち (音喜多に) えーっと、どうするの？

音喜多 お父さん迎えに来るから大丈夫。

くらもち ホント？

音喜多 ホント。

三上 本当に？

音喜多 ホントだよ。

くらもち おじさんと一緒に来る？

と、音喜多、携帯を取りだし、通話する。

音喜多 . . . あ、もしもしお父さん。私. . . うん。いま着

いた。親切な人に載せて貰った。うん。タクシー。じゃ、待つ
てるから。(切る) . . . そういうことだから。

三上 . . . そう。

くらもち (佐藤に) どうするんですか？合コン？

佐藤 はあ。

くらもち さすがに相手は来てないでしょ？

佐藤 そうですね。

くらもち 電話しなくていいんですか？

佐藤 そのことなんですけど。

くらもち え？

佐藤 (三上に) 「オズの魔法使い」って観たことあります？

三上 デイズニーの？

佐藤 ええ。僕、いま、そんな気持ちなんですよ。

三上 は？

くらもち 全然ワカンナイよ、それ。

佐藤 主人公のドロシー、って女の子に三人のお供がつくんです

ね。

三上 ライオン、かかし、ブリキの木こり。

佐藤 そう。弱虫のライオンは勇気が欲しい。かかしは知恵が欲

しい。ブリキの木こりは熱い心が欲しい。オズに行けばそれが

45

もらえるって信じて旅を続けるんです。でも、やっとの事でオ
ズにたどり着いたとき、魔法使いに言われるんですよ。

くらもち 「オマエたちはもうそれを持っておるよ」

佐藤 そう。旅で幾多の困難を乗り越えるうち、弱虫のライオン
は勇気を、かかしは知恵を、ブリキの木こりは熱い心を、それ
ぞれ自分の力で獲得していったんですよ. . . つまりそういう
ことです。

☆三上 . . . どういうことですか？

☆くらもち . . . どういうことですか？

佐藤 ワカンナイかなあ、私は合コンへと向かうこの長い旅の果
てに、(三上に向かって、「あなたを」な、ポーズ) 獲得したん
ですよ。

☆三上 (絶句する)

☆くらもち (絶句する)

音喜多 ばかだ。

佐藤 よろしければ、ケータイの番号とか、教えていただけませ
んか？

三上 幸子ちゃん、じゃあね。

音喜多 うん。ありがとう。

三上 元気で。

音喜多 うん。元気で。

三上 (くらもちに) お世話になりました。

くらもち お気をつけて。

佐藤 あの、私は、駅前のいわきホテルに宿取ってるんですが。

三上 (にっこり) 逆方向です。

佐藤 あの、

三上、早足で逃げるように去る。

佐藤

くらもち ま、なんていうか、あれだな。

音喜多 あれだな。

佐藤 . . . じゃ、そういうわけで。

くらもち どうするの？

佐藤 僕は、必ず立ち直ります。じゃ。

46

くらもち 気をつけて。
佐藤 (力なく手を挙げて応える)

佐藤、退場。残されるくらもちと音喜多。

音喜多 ……じゃ、私も、行くわ。

くらもち え？お父さん迎えに来るんでしょ？

音喜多 そんなこと言ったっけ？

くらもち え？

音喜多 いわきの女によるしく。

くらもち そんなんじゃないってば。

音喜多 じゃ。

くらもち あ、うん。じゃ、

音喜多、去る。一人残ったくらもち、携帯電話をかけるが、やはり出ない。

くらもち ……やっぱ、駄目か。

と、着信。すかさず出る。

くらもち あ、もしもし、くらもちです。あ、はい。……やっと繋がった。大丈夫でしたか？……あー、そうですね。……え、いま、着きました。いわきです。駅。……いま、どんな状態ですか？……まあ、そうですね。

緊急地震速報があちこちから聞こえる。

くらもち あ、ちよつと待って。来た来た。いま揺れてますよね？

しばらく無言で揺れるくらもち。次第に揺れが収まる。

くらもち そんなに、大きくなかったですね。……えーっ、劇団員の方が？……ああ……ご心配ですね。……そうですね。

47

仕方ないですね。じゃまた、そのうちってことで。ま、公演は12月ですから、後日改めていろいろってことで。……ええ。とりあえず今日はホテルに。いや、ホテルに行きやなんとなくなるでしょ。はい。わかりました。じゃ。

電話を切る。

くらもち えーつと、くらもちです。これまでご覧頂いたのは、だいたい僕があの日、体験した内容です。その後、どうなったのかというと、

と、くらもち、台詞のようではなく、素のまま、客席に語りかけるように、2分くらいで以下の体験を話す。

- ・ホテルの部屋には入室できず、レストランで毛布にくるまり、そこではじめてテレビで津波の映像を観たこと。
- ・家用車を仙台に置いていたので、ふたたび有志を募り、レンタカーを乗り継いで仙台まで来たこと。
- ・仙台から盛岡まで車に乗って北上したこと。

メロスが走り出てくる。舞台中央に至るとその場走り。くらもちはそのを見ている。

メロス メロス、黒い風のように走りました。犬を蹴とばし、小川を飛び越え、少しずつ沈んでゆく太陽の十倍も早く走りました。急げ、メロス。約束の刻限は夕暮れ。

夜からゆつくりと夕暮れへ。

くらもち 夕暮れ、夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ……夕暮れを完全に把握しました……。

夕暮れから、夕闇へ。

48

くらもち 街灯も消えてる。暗いねえ……信号も消えてる、危ないねえ……家の明かりも、お店の明かりも見えない。ただ、車のヘッドライトだけは光ってて、もちろん対向車もいて、暗闇の中をただひたすら走ってるんだよね。そうすると、なんか、ここどこなんだろうって思っちゃうわけだ。車を連ねて、この世ならぬところへ走ってるような、宇宙を走ってるような、海底を走ってるような、そんな気になったんだ。長い坂道を下りながら、ずっと向こうの丘をのぼるヘッドライトの列が、だんだん短くなってるって、自分もそこに近づいて行く。丘の向こうに消えていく車は、一体どこに行くんだろうと思いつつ、とをついて行っただけだ。その丘を越えたのか越えなかったのか……それがよくわからない。

メロス、だんだん遅れて舞台上からいなくなる。

くらもち ……見慣れた街まで戻って来て、ところどころ明かりが点いてた。でも、大体は真つ暗で……近所まで戻って来てもやっぱ真つ暗で……普段の街並みがあんな暗闇に包まれているのを見たら、少し震えた。車を降りて、何となく、空を見上げた。あんなにきれいで悲しい星空は、初めて見た。

暗闇の中、妻(三上)と子(音喜多)、登場。キャンプ用のランタンの明かり。

子 おかえり、お父さん！
妻 おかえり、あなた！
くらもち おー！無事だったかー！
子 うん！無事！
くらもち 誰もケガしてないか？
子 誰もケガしてないよ！お父さんがハゲてるだけ。
くらもち こいつう！
子 メルもげんき！

メル(三上) もうれしそう。

49

50

メル ニャー。
くらもち そーかそーか。(妻に) 心配掛けたな。
妻 (こくり)
くらもち 家はどんな感じなの？
妻 揺れたけど、なにも壊れてない。水道も出る。電気が復旧してないだけ。
くらもち そうか。
妻 ばかばかばか！心細かったのよー！
くらもち ごめんな。
子 あー、おかあさん泣いてるー。
妻 バカね、泣いてなんかないわよ。……泣いてなんか、……泣いてなんか、……えーん(と、くらもちに甘える)
子 ……えーん(それを見て負けじとくらもちに甘える)
くらもち 頑張った、よく頑張ったな、
妻 ご飯にしますか？あなたの好きなわんこそば作って待ってたの。だって盛岡だもん。はい、どんどん。
子 はい、よいしょ。
妻 はい、どんどん。
子 はい、よいしょ。
くらもち ……えーつと、とりあえず、ビール飲みたい。
子 お父さんの好きなベアレンビール買ってあるよ。だって盛岡だもん。
くらもち あー、でも、冷えてないだろ、冷蔵庫アレだと。
妻 大丈夫。冷え冷えよ。外に出しておけば凍っちゃうくらいよ。
☆だつて盛岡だもん。
子 ☆だつて盛岡だもん。
くらもち そーかそーか。はっはっはっはっは。
★妻 はっはっはっはっは。
★子 はっはっはっはっは。
妻 じゃ、娘。
子 じゃ、おかあさん。

と、妻と子、速攻でビールの支度。
メロスが登場。家の中を走りだす。くらもち、それに驚く

が、妻と子には見えていない。

くらもち ……。
妻 はい、お気に入りのビアマグ、南部鉄器よ。

と、南部鉄器ビアマグを渡す。

子 おひとつ、どうぞ。

と、ビールを注ぐ。くらもち、それを飲む。

くらもち くはー。

飲みつつ、くらもち、メロスが気になる。
子、くらもちの膝に乗る。

子 ねーねー、お父さん、おはなしきかせて。いわきはどうかっ
たの？

妻 お父さん、疲れてるんだから、明日にしなさい。

子 やだー、いまきくー、いまきくー。

妻 もー、しょうがない子。

くらもち 何から話そうかな。だいぶ長いからな。

子 じゃ、かいつまんで、ひとことと言うとどんな感じ？

くらもち そうだな、

と、くらもち、メロスを気にしながらビールを一口飲む。

くらもち ……楽しかったな。

メロス、走っている。

くらもち しかたないだろ、本当に、楽しかったんだから。

妻 あなた？

くらもち いや、なんでもない。

妻 それにしても、不謹慎ね。

51

くらもち まあ、そうなんだけど、

子 ふきんしんって、なに？

くらもち それはね、新しいヒーローの変身のかげ声だよ。

子 ほんと？

くらもち 仮面ライダーフキソウジ、っていうの。ふきんを持つ

て、ふきんしん！

子 すげー。

妻 嘘教えないの。まったく、困ったお父さんねえ。

くらもち はっはっはっはっは。

★妻 はっはっはっはっは。

★子 はっはっはっはっは。

絵に描いたような一家団欒。くらもち、ビールをもう一口
飲む。メロスはまだ走っている。

くらもち ……ずっと走ってたのか？

メロス、無言で走り続ける。

くらもち もう、いいよ。むだだよ。

メロス 走るより他は無い。

くらもち だってさあ、

メロス 間に合う、間に合わぬは問題ではない。私は、なんだか
わからない、恐ろしく大きなものの為に走っているのだ。

メロス、走り続ける。

くらもち ……そうか。

メロス、走り続ける。ゆつくりと暗転。

了

52

※太宰治「走れメロス」(青空文庫)から一部引用しました。
(作者の死後五〇年以上経過しているため、著作権は消滅しています)

2012年12月15日(土)～16日(日)
いわき芸術文化交流館アリオス小劇場(福島県いわき市)

架空の劇団×渡辺源四郎商店 合同公演

「震災タクシー」

作・演出 くらもちひろゆき、畑澤聖悟、工藤千夏

「出演」

くらもちひろゆき (架空の劇団)
佐藤 浄 (架空の劇団)
加藤 隆 (マーブル局)
東海林 浩英 (フリー)
畑澤 聖悟 (渡辺源四郎商店)
三上 晴佳 (渡辺源四郎商店)
音喜多 咲子 (渡辺源四郎商店)

「上演記録」

2012年9月1日(土)、2日(日)
アトリエ・グリーンパーク (青森県青森市)

2012年9月8日(土)、9日(日)
長久手市文化の家 風のホール (愛知県長久手市)
(第6回長久手地域演劇祭参加)

2012年10月13日(土)、14日(日)
盛岡劇場タウンホール (岩手県盛岡市)
(第65回岩手芸術祭参加)

2012年11月9日(金)～11月11日(日)
こまばアゴラ劇場 (東京都目黒区)
(平成24年度文化庁芸術祭参加)